

合唱の祭典

指揮 相澤 直人

ピアノ 永易 理恵

合唱 洗足学園音楽大学 声楽コース 専門合唱履修者

2022年12月3日(土) 13:00開演 (12:30開場)

洗足学園 前田ホール

△新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

主催 洗足学園音楽大学

◇◇ Program ◇◇

混声合唱曲集「旅のかなたに」

作曲：信長 貴富

- 1, しあわせよカタツムリにのって (作詩：やなせたかし)
- 2, 歌 (作詩：谷川 俊太郎)
- 3, それは (作詩：長田 弘)
- 4, 足 (作詩：寺山 修司)
- 5, 旅のかなたに (作詩：室生 犀星)

◆ 休憩 ◆

混声合唱とピアノのための「イタリア歌めぐり」

編曲：名田 綾子

- 1, サンタ・ルチア 作曲：ナポリ民謡 (訳：小松 清)
- 2, 女心の唄 作曲：G.ヴェルディ (訳：堀内 敬三)
- 3, 帰れソレントへ 作曲：E. de クルティス (訳：徳永 政太郎)
- 4, わが太陽よ 作曲：E. di カプア (訳：川路 柳虹)
- 5, フニクリ・フニクラ 作曲：L.デンツァ (訳：青木 爽・清野 協)

◆ 休憩 ◆

天使、まだ手探ししている

作曲：相澤 直人

作詩：谷川 俊太郎

くちびるに歌を

～混声合唱とピアノのための「くちびるに歌を」より～

作曲：信長 貴富

作詩：ツェーザー・フライシュレン (訳：信長 貴富)

今年

～混声合唱とピアノのための「この星の上で」より～

作曲：松下 耕

作詩：谷川 俊太郎

指揮 相澤 直人
ピアノ 永易 理恵
合唱 洗足学園音楽大学 声楽コース 専門合唱履修者

◇◇ Program note ◇◇

混声合唱曲集『旅のかなたに』

この曲集では、喜び、悲しみ、絶望、希望の間でそれでも生き続けようとする人間の姿を歌っている。歌う理由がそこにはある。

第1曲〈しあわせよカタツムリにのって〉は、あの有名なやなせ・たかしの詩である。幸せに会いたいが、今はゆっくりとカタツムリに乗ってやってきほしいという葛藤や、幸せの時に噛み締めながら生きていきたいという強い思いが、穏やかなテンポで情緒豊かにア・カペラで歌われる。

第2曲は、小川のせせらぎや風が木々をわたる音そのものが音楽なのだ、と語る谷川俊太郎の詩による〈歌〉。自然も人間のように生きていること、そして人間と自然は切り離すことのできないものであることが、淡いハーモニーとピアノの透明感として表現されている。

第3曲〈それは〉は、陽の光がキラキラと窓から差し込む様子を表現したピアノの前奏からはじまる。"それ"は一体何だったのだろうか。希望に満ち溢れた何かなのか、それとも心の中に抱いた何かなのか、各パートがそれぞれ伸びやかな旋律を紡いでいく。

第4曲の〈足〉は、死までどれくらい歩くのか、どこか寂しいような孤独さを感じさせる。逆に歩いていようという希望もどこかで感じられるのではないか。

そして終曲〈旅のかなたに〉は、苦しさや辛さ、悲しさの中にも未来にむかって歩もうとする思いが、4拍子や四分音符の力強い躍動に乗せられ前進していく。"わがよろこびは唇をあかるくす"には「心に太陽を、唇に歌を（詩：C.Flaischlen）」を想起させるメッセージであるようにも感じる。

(4年 石塚 紫音莉)

混声合唱とピアノのための『イタリア歌めぐり』

誰もが聞いたことのあるイタリアの歌に、日本語で、遊び心に富んだアレンジが施された曲集。

1. 〈サンタ・ルチア〉

清らかに波に揺られ、曲集の幕が開かれる。サンタ・ルチアとは町の名前であり、それは世界一美しい港町と言われている。海に見える町であるが故に、3番まで"波"という歌詞が繰り返されている。強弱の振幅と、経過音を用い階段上に上下するフレーズが多用されるが、これらもまた、海の波が打ち寄せ引いていく、穏やかかつ情熱的な動きを表現しているのであろう。

2. 〈女心の唄〉

女の考えはいつも気まぐれに変わっていく、という内容のこの作品は、一定して軽やかなリズムと旋律に乗せて、滑稽に愛らしく描かれている。一方で、フェルマータとその後が続く弾けたような付点音符は、移ろいやすい魅惑の女心に翻弄され嘆き、しかし、ただ悲観的になっても仕方がないのだ、という心情を象徴する表現ではないだろうか。

3. 〈帰れソレントへ〉

この曲は、太陽が降り注ぐ美しい海岸のあるソレントの風景と、愛する女性が戻ることを願う恋心を歌った情熱的な歌である。原曲は3拍子だが、このアレンジでは4拍子に編曲されていることがポイント。イタリア語はアクセントや子音・母音の深さなどに発音の特徴が強く、八分音符の連続する3拍子でもメリハリが付きやすいが、語気の強くない日本語だと少々平坦に聞こえてしまう。切ない恋心を情感たっぷり歌い上げると共に、日本語ならではの作り替えられたリズムの技巧にも注目だ。

4. 〈わが太陽よ〉

心地よく流れるボサノバ（サンバと同じ2ビートの音楽から生まれたブラジル音楽）風リズムが、後半はサルサ（ラテン音楽の一種で、独特のリズムパターンが特徴）風に。輝く太陽と愛する人を重ね合わせた情熱的な歌詞で、全体的に用いられるロングトーンの中にその熱意がたっぷりと込められる。多く見られる半音での繊細な音程遷移も、優美かつグルービーで、ノリの良い南米のリズムに気持ちよく乗る。

5. 〈フニクリ・フニクラ〉

原曲は、ヴェスヴィオ火山にかつて存在した登山電車「フニコラーレ」の集客のために作曲されたCMソングで、フニクリ・フニクラはフニコラーレの愛称。本作では、楽しい登山電車の旅がいつの間にやら乗っ取られてしまった、果たして無事に到着できるのか・・・、というユーモア溢れるストーリー性を持つ内容へとアレンジされている。このアレンジが、底抜けに明るく強弱のメリハリが強い原曲と相まって、人の心を一層惹きつけるキャッチーな作品に生まれ変わった。是非、楽しんで聴いていただければ幸いである。

(1年 菅原 恵里佳)

【プロフィール】

相澤 直人（指揮）



アイザワノーツ合同会社代表、JCDA 日本合唱指揮者協会及び東京都合唱連盟副理事長。全日本合唱連盟東京支部副支部長。東京藝術大学及び洗足学園音楽大学では講師として教鞭をとる。「たしかな芸術」「曲が喜ぶ演奏」をモットーとした発信は共感を呼び、「生きた楽典」「eye the 和声」「旋律演奏の探究」「名曲を掘り下げる」など、演奏表現に活かすための各種セミナーを継続的に開催。好評を博している。

現在、あい混声合唱団、女声合唱団 ゆめの缶詰、Ensemble Flow など、多くの合唱団で音楽監督、常任指揮者を務める他、東京混声合唱団、東京六大学混声合唱連盟、早稲田大学グリークラブなど、客演指揮者としての招聘も多い。特に、古典から現代に至る邦人作品

における「ことば」と「音楽」を読み取る演奏に評価を得ており、作曲家やピアニストからの信頼も厚い。

また、作曲家としても 200 曲以上の合唱作品を作曲。代表曲の「ぜんぶ」「あいたくて」をはじめ、多くの作品が愛唱されており、カワイ出版、音楽之友社、教育芸術社などから出版されている。

著書に「合唱エクササイズ アンサンブル編」1～3 巻、「同 ニュアンス編」、「同 指揮編」1～2 巻（共著）など。

永易 理恵 (ピアノ)



幼少時より、ピアノ、ヴァイオリン、作曲など、幅広く音楽を学び、桐朋女子高等学校音楽科にピアノ専攻で入学。桐朋学園大学音楽学部在学中にドイツへ留学。ドイツ国立ベルリン芸術大学を首席で卒業し、同大学院 Konzert Examen 修了。ドイツ国家演奏家資格を取得。

第7回大阪国際音楽コンクールピアノ部門第1位及び理事長賞、第19回市川市文化会館新人演奏会ピアノ部門最優秀賞、第9回長江杯国際音楽コンクールピアノ部門第1位、他、多数の賞を受賞。

2008年つくばサイエンスアカデミー主催のソロリサイタルを皮切りに、日本国内やドイツにて多数のソロリサイタルを、ドイツ、ポーランド、韓国など

でも室内楽やデュオコンサートに出演するなど、国内外で活躍している。2015年、2016年にはOTOの会の主催で、帰国記念コンサートを、オペラシティーリサイタルホール及びみなとみらい小ホールで開催、書き下ろしの現代音楽を初演した。また、ベルリン及び秋田県大館市で東日本大震災復興支援チャリティーリサイタル、東京で熊本地震復興支援チャリティーコンサート、東京と洗足学園音楽大学で西日本豪雨災害復興支援チャリティーコンサートを開催するなど、音楽での災害復興支援も積極的に行っている。

帰国後は桐朋卒業生をメンバーとする「音の和」を立ち上げ、0歳から聴ける音楽会を企画運営し、このコンサートのために編曲も担当し好評を得ている。2015年より毎年、韓国での室内楽演奏会「アンサンブル・ベルリアーナ」に出演している。ヴァイオリニストのNagisaとピアノのRieのデュオユニット Musica Regina としても活動し、2019年春にCD「piacere」を発売。

これまでにピアノを青柳晋、田部京子、パスカル・ドゥヴァイヨン、村田理夏子、作曲を大家百子の各氏に師事。

現在、韓国・水原の世界ミュージックアカデミー春期講習会ピアノ講師、洗足学園音楽大学ピアノ講師。

〔Soprano〕

石塚 紫音莉	石井 杏実	岸 佳那子	小林 礼乃	菅原 智里
高岡 未侑	立田 紗音理	中村 美涼	福田 真桜	宮根 千翔
相場 萌花	岩井 彩実	坂本 えみ	中森 優衣	松本 一恵
クエ アリス	齋藤 優花	筒井 聡子	安藤 ありさ	笠 玲愛
菅原 恵里佳	平 ほの花	野口 くらら	村山 瑠和	高津 琴音

〔Alto〕

荒 理緒奈	河村 未奈	齋藤 遥歩	雨森 あかね	安藤 雅
小原 清香	中西 美友	伊藤 茜璃	北田 瑞葉	鈴木 桜子
關 華乃	田村 萌羽	原 朱里	柘内 花音	今井 蓮珠
井村 咲月	片桐 綺羅	西澤 姫花	和知 未涼	安井 円香

〔Tenore〕

川口 宏貴	齋藤 あいひ	清水 利浩	小林 真幸	白岩 祥明
水田 舜大	櫻井 亮太*	白石 渉*		

〔Bass〕

菊地 健太	鈴木 諒汰	張 瀚文	田中 哲史*	玉山 彰彦*
戸村 優希*	服部 聖人*	山口 義生*		

*…演奏補助要員

〔指導〕 相澤 直人 永易 理恵

〔助手〕 八木澤 知里

〔アカデミック・コーディネーター〕 神谷 明美

〔声楽コース アカデミック・プロデューサー〕 塩田 美奈子